

○大分県地方史総会の予告

昭和四三年度の大分県地方史研究会の総会を左記の通り開催する予定で、例年のとおり会員の研究発表も行いますので、発表希望者はご準備下さい。

期日 昭和四三年六月九日（日曜日）（予定）

場所 大分市荷揚町

大分県林業会館ホール（予定）

○中野幡能氏の学位祝賀会のお知らせ

本会の常任委員中野幡能氏（大分県立芸術短大教授）は、「八幡信仰史の研究」でこのほど文学博士の学位をうけられました。本会では氏の学位をうけられたことをお祝いするため、昭和四十三年年度総会の後、祝賀会を開催いたします。多数の会員諸氏の参加をお待ちしてまいります。

期日 昭和四三年六月九日 総会終了後

場所 第一生命ニュー大分 会費五〇〇円（予定）

○「大分県地方史」五十号記念特集号原稿募集

本会々誌「大分県地方史」は昭和二九年十月に創刊号を発行して以来、会員諸氏の御協力により早くも次号で「五十」号を教えることに

なりました。このため、本会ではこの「五十号」を記念し、合せて、今年が明治百年めでもあるので「明治百年」をも記念する意味で「五十号記念 明治特集」号（仮称）とする計画であります。多数の会員諸氏が原稿をお寄せ下さるようお願いいたします。

原稿締切日 七月二十日

○事務所移転等のお知らせ

本会の事務所は大分大学の移転に伴い、且野原の同大学国史研究室内に移転しました。事務所の移転に伴い、常任委員会の議を経て既刊の「大分県地方史」のうち一定部数を残して、他を古本屋の競売にふしました。売上代金は経常費に繰り入れる予定ですが、詳細は総会の節報告いたします。

○バックナンバー及び史料叢書在庫のお知らせ

本誌のバック・ナンバー及び史料叢書在庫は次の通りです。希望者は代金をそえて申込んで下さい。（ ）内は頒価。（単位円）

大分県地方史

△7・8合併号、若干（一四〇円）、△17・18・19・20合併号「日田・

津江特集」(三〇〇)、△21・22合併号「民俗学特集」(一六〇)、

△23号（一四〇）、△24号（二五〇）、△25号、若干（三〇〇）、

△26号（一六〇）、△27号（三〇〇）、△28号（一六〇）、△29・30

- 合併号（二四〇）、△31号（二五〇）、△32・33合併号（三〇〇）、
 △34号（欠）、△35号（一六〇）、△36・37合併号（三三〇）、△38
 ・39・40合併号（僅少）「大野庄特集」（七五〇）、△41号（三三〇）
 △42号（二七〇）、△43・44号（二六〇）、△45号（二〇〇）、△46
 号（二〇〇）、△47号「勤王志士青木猛比古特集」（二〇〇）、△48
 号（二〇〇）

史料叢書

- △豊後国村明細帳（一）若干（五〇〇） △豊後国郷帳（一）若干（五〇〇）

編集後記

▲会報でもお知らせしましたが、本会常任委員の中野幡能氏が「八幡
 信仰史の研究」で学位をうけられました。氏の名誉はもちろんのこと、
 本会にとりましても名誉であり、会員諸氏とともに衷心よりお祝を申
 しあげます。（祝賀会は会報参照）

▲また大学の移転に伴って、本会の事務所が緑と丘に囲まれた市内且
 野原の大分大学の新学舎（国史研究室）に移転しました。恵まれた環
 境の中の新事務所でありよい会誌の編集にあたりたいと張切っていま
 す。とは云へ、本号はちようど移転前のゴタゴタした中での編集であ
 り、年度末の關係で印刷所の都合もあつて、発行が大変遅れましたこ
 とを申しわけなく思っています。

▲本号には特に田北暢舟・久保トミ両氏の「豊日古戦跡の見学旅行記」
 を寄せていただきました。両氏の旅行記は、見学旅行に参加できなかつた
 会員諸氏に必ず喜んでいただけるものと考えています。今後も
 この種の原稿や地方支部の活動状況なども掲載し、バラエティに富んだ
 会誌にしてゆきたいと考えていますので、会員諸氏の投稿をお願いします。

昭和四十三年三月二十五日印刷

昭和四十三年三月三十日発行

会費 年五〇〇円

編集兼 渡 辺 澄 夫
 発行人

印刷人 高 井 久 雄

印刷所 大分市上野
 三恵印刷株式会社
 電話⑤〇一二三
 大分市且野原

発行所

大分大学教育学部国史研究室内
 大分県地方史研究会

（振替下関五二九四番）